

校内マラソン大会 力走しました

天候不良のため一日延期した校内マラソン大会を11月13日に実施しました。朝登校してきた子どもたちが話しかける話題はやはり、マラソン大会のことが多かったです。具体的な目標を示して頑張ると言った子どももいましたが、緊張している様子が伝わってくる子どももいました。「何でマラソン大会があるですか」そんなことを聞きに来る子どももいました。「これも大切な勉強なんですよ」と答えるのですが、わかったのかどうか。

羽合小学校では低学年は800m、中学年は1200m、高学年は1500mという、子どもたちにとっては結構長い距離が設定されています。長い距離を走りきる持久力や苦しいことにも向かっていく強い気持ちを育てるためです。

大会当日まで、体育の授業で何回もコースを走り準備をしてきました。マラソン大会の前から、業間運動で決められた距離より多めに走ったり、自主的に朝や放課後に練習をしたりしている子どもたちもいました。走ることが得意な子、そうではない子もいますが、それぞれ自分の目標のタイムや順位を目指して走りました。たとえ大きく遅れたとしても、応援に来てくださった方や、何より一緒に走った仲間の声援をもらいながら、自分のゴールを目指して走り抜けました。



羽合小学校では業間運動を毎日積み重ねています。天気の良い日はグラウンドに出て、決められた周回を走ります。新体カテストの結果を見ると、持久力を表すシャトルランでは県平均を大きく上回る数値が出ています。これも、少しの時間ですが毎日の朝運動や体育学習、そしてこのような体育的行事を続けながら積み重ねてきた結果が表れたものだと思います。

生活の中で何かをやり続けることは難しいことです。やる気のあるときはできるのですが、やる気はいつまでも続かないのが現状です。最初は絶対頑張ると意気込んでいても、やり続ければ力になることがわかっていても、続けることは難しいことです。どんなに小さなことでもやり続けるには、強い意志と覚悟が必要です。でもそこは子どものことです。大人でも難しいことなのに、強い意志や覚悟を持った子どもはそうそういません。周りの友だちや教師、保護者の励ましや声かけが必要です。



「継続は力なり」という言葉もあります。朝読書、朝運動、毎日の学習や宿題、毎日少しずつでもやり続ければ、力となります。私たち教員や保護者の方が一緒になって、子どもたちが伸びていくために、繰り返し繰り返し応援し続けたいと思います。